

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 22 年 3 月 5 日

審査機関名 社団法人 日本能率協会

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJ0069
排出削減事業者名	有限会社 星太染工
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン / 丸紅株式会社
事業実施場所	有限会社 星太染工 (群馬県桐生市東 3 丁目 5 番 3 号)
事業の概要	A 重油ボイラー 3 台を都市ガスボイラー 2 台に更新することにより、ボイラーの効率化による燃料使用量の削減及び低炭素燃料へのエネルギー転換によって、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	130tCO2/年 ただし 2008 年度は 54tCO2/年 (事業実施期間合計 574tCO2)
国内クレジット認証期間	開始日 2008 年 11 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2008 年 11 月 1 日 ~ 2010 年 1 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	152 tCO ₂ (2008年11月1日～2010年1月31日)
-------	----------------------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていることを確認した。 1) プロジェクト開始日 プロジェクト開始日が承認排出削減事業計画通りであることを都市ガス使用実績により確認した。また、排出削減事業計画の現地審査実施時(2009年10月20日)にプロジェクト開始日は、関連書類により確認済みであることを確認した。 2) 対象期間中の設備稼働 承認排出削減事業計画に従い、都市ガスボイラーが導入されていること、及び、本実績報告期間において導入設備である都市ガスボイラーが稼働していることを、実績報告期間中の都市ガス使用実績により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法 承認排出削減方法論、及び、承認排出削減事業計画に従い、都市ガスメーターの使用実績により、モニタリングが実施されていることを確認した。(承認排出削減事業計画ではボイラーごとに都市ガス使用量をモニターするように記載されていたが、都市ガス会社への支払いに使用される都市ガスメーターは一つであることを確認し、実態とモニタリング方法が合致していることを確認している。)

要件	実績確認手続き
	<p>2) 活動量の正確性 都市ガス事業者が発行した請求書の確認により、承認排出削減方法論、及び、承認排出削減事業計画通り、エネルギー使用量等が実績報告期間中にわたり適切に把握され、正確に集計、適切に保存されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、排出削減方法論（別表）通りであることを確認した。（都市ガスの炭素排出係数は、最新の炭素排出係数に改定されていることを確認した。） その他の係数は承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 測定結果との突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程、計算結果の確認により、排出削減量の算定方法及び算定結果は正確であることを確認した。</p> <p>5) その他、承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。</p>
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2008 年 11 月 1 日から 2010 年 1 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。

5．承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
該当なし

6．特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 2.2 KL であることを確認した。

以上